

幸手市の財務書類（概要版）



- ・ 幸手市では、従来の単式簿記による決算書では把握できないストック情報（資産・負債）や見えにくいコスト情報（減価償却費等）をわかりやすく説明するため、複式簿記・発生主義会計の手法を用いた財務書類を作成しています。
- ・ 財務書類は、複式簿記による4つの表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）で構成されます。
- ・ 幸手市では、以下の3種類の財務書類を作成しています。

一般会計等財務書類 … 幸手市の一般会計
全体財務書類 … 幸手市のすべての会計の合計
連結財務書類 … 幸手市のすべての会計と市が加入している一部事務組合など※の合計

※一部事務組合・広域連合の会計に、幸手市の負担する割合を乗じた金額を連結

- ・ 詳しい内容は、市ホームページに掲載している「幸手市の財務書類」をご覧ください。

一般会計等財務書類（概要）

貸借対照表（バランスシート）

令和4年度末時点での資産・負債の状況

（単位：億円）

資産の部		負債の部		
これまで積み上げてきた資産		将来世代が負担する金額		
固定資産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、公民館など	257.3	(1) 地方債 令和6年度以降に返済予定の地方債	113.3
	(2) インフラ資産 道路、公園など	386.5	(2) 退職手当引当金 市職員が全員退職した場合の手当額	14.2
	(3) 物品など 備品、ソフトウェアなど	6.0	(3) その他の固定負債 損失補償引当金など	0.0
	(4) その他の固定資産 特定目的基金、長期貸付金など	13.1		
流動資産	(1) 現金預金	16.5	(1) 1年内償還予定地方債 令和5年度中に返済予定の地方債	13.3
	(2) 基金 財政調整基金・減債基金	15.9	(2) 賞与等引当金 令和5年度に支払う職員の賞与相当額	1.7
	(3) その他の流動資産 税や貸付金の未収金など	0.5	(3) その他の流動負債 市の一時的な預り金など	0.2
資産合計		695.7	負債及び純資産合計	695.7
			純資産の部 現在までの世代が負担した金額	552.9

行政コスト計算書 令和4年度中の費用と収益の状況

純経常行政コスト	172.3
経常費用 行政サービスの費用	177.5
経常収益 受益者の負担(使用料など)	5.1
臨時損失 資産売却時の損失など	0.0
臨時利益 資産売却時の利益など	0.0
純行政コスト	172.3
受益者負担等を控除した行政サービスに要した費用など	

純資産変動計算書 令和4年度中の純資産形成状況

前年度末純資産残高	555.6
純行政コスト	△ 172.3
財源 税収や国県支出金など	168.6
その他	1.0
本年度末純資産残高	552.9

資金収支計算書 令和4年度中の現金の流れ

前年度末資金残高 令和3年度からの繰越金	15.6
本年度資金収支額 令和4年度中の現金の増減	0.7
本年度末資金残高 令和5年度への繰越金	16.3
本年度末歳計外現金残高 市の一時的な預り金	0.2
本年度末現金預金残高	16.5

財務書類の数値を用いた指標

純資産比率

資産合計に占める純資産の割合です。比率が大きいほど、地方債などの負債へに頼らない資産形成を行っていると言えます。

令和2年度	令和3年度	令和4年度
78.3%	78.6%	79.5%

有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち償却資産（建物、工作物、物品など）について、耐用年数が過ぎた資産の割合を表しています。この比率が高いほど、資産の老朽化が進んでいると言えます。

令和2年度	令和3年度	令和4年度
54.6%	56.6%	58.5%

受益者負担割合

行政コスト計算書における経常費用のうち、経常収益（使用料などの受益者負担）でまかなえている割合です。比率が低いほど、市税などの一般財源を充てている状態と言えます。

令和2年度	令和3年度	令和4年度
1.6%	2.4%	2.9%

※ 各項目の合計値と、その内訳を足し上げた値は、端数処理により一致しない場合があります。